

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東 1-4-20-102

2014年2月 (No.8)

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

今月の聖句

そのとき、ペテロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟が私に対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか七回までですか」

イエスは言われた「あなたに言うておく、七回どころか七の七十倍までも赦しなさい」

マタイによる福音書18章21節-22節

主題

国際会長	Poul V. Thomsen	「全ての世界に出て行こう」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」
東日本区理事	渡辺 喜代美	「いざ立て」
あずさ部長	藤江 喜美子	「心を一つに あずさ部号前進」
武蔵野多摩会長	伊佐 節子	「健康第一！ちょっとだけ無理して頑張ろう！」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

1月出席率 在籍者11名 出席者9名 ネット0名 メイキャップ0名 ゲスト0名 出席率82%

目次

- ・ 巻頭言
- ・ 1月第一例会報告
- ・ 国際・交流事業『RBM』について
- ・ 地域奉仕委員会よりお知らせ
- ・ 西東京YMCA 便り
- ・ 予定、案内

2月12日(水) 19:00～ 第一例会
担当 司会：山本、聖書：小坂、受付：宮内・松田
ゲストスピーカー YMCA 同盟 永岡美咲氏
「世界と日本のYMCAのユース育成」について。

♪ Happy Birthday ♪

2月該当者なし

二つの報道

宮内 友弥

あのルバング島の小野田寛郎さんが、1月16日に亡くなった事が報じられた。救出帰国後、都会に馴染めずブラジルに移住し牧場を経営していたが、日本で予備校生が両親をバットで撲殺するというニュースにショックを受け、山梨に子ども達の為に「自然塾」を開き、亡くなるまで指導や講演をライフワークとして続けられた。今の日本人は能天気で逞しさに欠けると言う危機感から、自分の救出に多くの人が頑張ってくれた事への恩返しですと後年語っておられる。

小野田さんの報道と前後して女子中学生が行方不明になり、幸い数日後に無事保護されたとのニュースがあった。当の本人は、親に叱られたので家を出たとのこと、両親は報道陣のインタビューに応じて「無事で良かった、ギュッと抱きしめてやりたい」。親として喜びは当然で本心であろうが、世間を騒がせ迷惑をかけた事にまず一言あるべきだろうと、思わずテレビの前で呟いてしまった。

二つの報道の間に感ずる大きなギャップ、「時代が違う」の一言で済ませるのではなく「健全な社会」構築のため又若者世代への期待を込めて、ささやかではあるが小野田さんのようなマインドを持ち活動出来たら良いと思う。

在京ワイズ新年会(1月第一例会)報告

山口 直樹

恒例の在京ワイズ新年会が、1月11日に東京YMCA東陽町センターにて120名以上のワイズが集まり、盛大に開催された。

第一部は早稲田教会の古賀博牧師の奨励。一人一人の賢い力を集め行うことで世の中はより良くなっていく。ワイズのあり方に通じるお話を伺った。



第二部は懇親会。廣田光司東京YMCA総主事、渡辺喜代美東日本区理事のご挨拶をいただいた後、田中博之次期東日本区理事の乾杯。皆でおいしい食事をいただきながら懇談交流の時を持った。ショータイムでは花岡詠二スキング・ショットの素晴らしい演奏にしばし心洗われる時間が持てた。また、今年の6月7日に開催される浅草での東日本区大会の力強いアピールをはじめ様々に各クラブよりアピールがなされた。今回は在京以外のクラブからの参加も10名以上あり、部を越えた交流が様々見られた。いつものことだが、ワイズの力強さを感じる時間であった。また、今回は富くじの景品として、あずさ部の長野クラブが応援している長野栄村のお米も提供され、活動の広がりも感じられた。この力強さを広げ、継続していきたいと今年も思う。

武蔵野多摩からは伊佐、石丸、野尻、清水、鳩

山、松田、宮内、渡邊、山口の9名が参加。終了後場所を移動しながら、第3部、第4部と楽しい時間は続いていった。



国際・交流事業『RBM』について

国際・交流主任 石丸由理

一昨年夏、明治初期に日本の幼児保育に尽くした宣教師の方々の記録を読んでいて、日本の音楽教育のあけぼのに、多くの西洋の方、特に宣教師の皆さんのご努力があった事に頭が下がる思いでした。海外から来たみなさんにとって、日本の生活には沢山の不便な事があったことと思いますが、その中で暑い夏の蚊や蚤に悩まされたと記録に残されていた事が、とても印象的に頭に残っていました。

2010年より5年間の世界のワイズメンズクラブの統一プロジェクトとして、Roll Back Malaria Partnership (ロールバック・マラリア・パートナーシップ)の運動が勧められています。これは国連と提携し、国際赤十字との協働で実施されているマラリアの予防・撲滅運動です。2010年のWHO報告では、マラリアによる死者は推定65万5000人、死者の86%は5歳未満の子どもだそうです。マラリアの原因はマラリア原虫を持った蚊が人を刺すことによって感染します。従って蚊に刺されないようにすることがマラリアの予防につながります。この活動は、献金を原資にして、子どもを中心として多くの死者が出ているマラリアを防止するための媒介蚊対策として、薬剤含浸蚊帳を寄付する物です。私も子どもに関係する仕事をしていることから、全ての子どもたちが希望を持って安心して暮らせる社会の為に、ロールバック・マラリアの運動への理解を深めて、献金協力を勧めると言う事を、今年度の国際・交流事業の重点課題の1つとしました。

しかしスタートしてみると、貧困の中での非衛生的な生活、蚊帳に関する薬剤の件等の問題を指摘する声があり、色々な意見がある事がわかりました。確かに、マラリア蚊の撲滅が一番早い方法ですが、その実現の道のりは一筋縄ではいきません。乗り越えなくては行けない事の多さに呆然とします。薬剤に関しても色々な意見が有りましたが、しかし薬剤に関してはそんなに問題はないとする意見が多い事もわかり、WHOの報告では、蚊帳の配布によって、マラリア対策が大きな成果を上げていて、死亡率が2000年比で50%減と報告しています。確実に子どもの命が救われてのも事実です。又、現地での生産と言う事で、現地の方の雇用を促すこともできている事もあり、この運動によって救われる命や生活がある事実に、改めて運動の大切さを感じました。

昨年9月末、渡辺理事にお目にかかった時、仙台YMCA国際ホテル専門学校校長が、マラリアにかかり、大変な経験をなさった事を教えて頂き、また、藤井寛敏前国際会長(2010~11)の時からスタートしたプロジェクトと言う事で、お忙しい皆様にご協力頂き、小冊子『What is RBM?』が出来上がりました。これから主査の皆さんの協力を頂き、各クラブへお届けして、少しでも多くの方に理解を深めて頂く事で、国際クラブの一員としてのワイズライフを充実させることのお手伝いができたらと思っています。

今年度東日本区の目標金額は3万スイスフランで、メンバー1人当たり800円になります。

1日2円、1ヶ月66円の献金で、1家族がマラリアの心配から安心して休むことができる蚊帳を提供する事が出来ます。

世界中どこの国でも子どもは家族の希望、そして子どもの命はみな平等です。幸せな事に、私たちはマラリアの危険の全くない国に住んでいます。そんな私たちが救える子供の命の為に、献金にどうぞご理解とご協力を宜しくお願い致します。

<地域奉仕委員会よりお知らせ>

今年も例年通り年賀切手による献金を行います。是非年賀切手の収集にご協力ください。

例年通り表彰の対象とさせていただきます。切手は各クラブでまとめて、東日本区事務所にお送りください。

年賀切手の収集の締め切りは、2月15日です。

<西東京 YMCA 便り>

鳩山 徹郎

今年は例年に比べ強い寒波が来ることが多く、キャンプに出かけるスキー場も雪がとても豊富であり、充実したキャンプを過ごせています。寒いのは東京も同じですね。いかがお過ごしでしょうか。

さて、12月末に行われましたスキーキャンプも、皆様の祈りの中で無事に終えることが出来ました。スキーの上達はもちろん、大学生を中心とするボランティアリーダーたち、学校では出会わない様々な他者との生活は、きっと多くの刺激、影響を子どもたちに与えたことと思います。すでに春のキャンプの準備も始まりました。冬キャンプの評価をもとに、また新たなチームでキャンプを作り上げていきます。支えてくれる多くのボランティアリーダーを応援下さい。

西東京センターの大きな特徴として、障がいをお持ちの方々の活動が多いことが挙げられます。2月、3月は障がいをお持ちの方々を対象としたスキーキャンプも行われます。大学生だけではなく、多くの社会人リーダーにも参加してもらい、マンツーマンをベースとするスキー指導を行います。当然、少し特別な指導法を身につける必要があり、参加するリーダーたちは通常のリーダートレーニングに加え、障がい児・者を想定した特別なトレーニングに参加し、いかにスキーというスポーツを楽しんでもらうか、安全に過ごせるかを学びながら準備をしております。こういったプログラムが、企業や行政の支持をいただき、補助をいただきながら運営出来ていることもとても嬉しいことです。

スキーは危険もあるプログラムですが、豊かな体験を安全に行えるように準備しております。ぜひ応援下さい。今月もお支え、お願いいたします。

<西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 2/1-2 障がい児・者対象プログラムのためのスキーリーダートレーニング
- 2/4 春キャンプ申込受付（会員のための優先受付）
- 2/6 春キャンプ申込受付（一般受付）
- 2/7-9 障がい児・者及び健常児対象スキーキャンプ「チャレンジスキーキャンプ」
- 2/16 小学生野外活動「ロビンソン」2月例会
幼児野外活動「にこにこ」2月例会
知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」2月例会
- 2/22 教育シンポジウム「高野さんちの子育て」講師：育児漫画家 高野 優氏
- 2/22-23 軽度発達障がい児 野外活動「Smile」2月例会(1泊会)

<ワイズメンズクラブ主な予定>

- 2/1 10:45~12:15 第2回（あずさ部）七里岩評議会（山梨県）韮崎市民交流センター・ニコリ3F
- 2/11 15:00~17:00 第3回 チーム未来ミーティング YMCA 東陽町センター
- 2/12 19:00~21:00 2月第一例会 YMCA 西東京センター
- 2/13 18:30~20:30 ユース事業委員会 YMCA 同盟会館
- 2/15 13:30~17:30 神戸学園都市クラブ 20周年記念式典 エスタシオン・デ・神戸
- 2/26 18:30~20:30 2月第二例会 YMCA 西東京センター